

学校だより

令和6年10月1日



いちよう

目指す学校像

生徒一人一人の力が伸びる学校

新座市立第三中学校

〒352-0015 新座市池田1-1-1

TEL (048) 479-4052 FAX 482-0133

主体性を育む

校長 石田 和男

ICT技術等の進展により社会が急激に変化し、予測困難な時代となりました。今の子供たちが大人になる10～20年後には、今ある職業の約半分がAIに取って代わられるとも言われています。これからの変化の激しい社会を生き抜いていくためには、社会情勢に柔軟に対応しながら、主体的に新しいことに挑戦したり、課題を解決するために仲間とともに取り組んだりすることが求められています。つまり、受け身ではなく、主体性をもって社会や自分の人生に向き合っていく態度が重要となるのです。

2022年1月に公表された「採用と大学改革への期待に関するアンケート」（経団連）では、企業が大卒者に期待する資質としてあげたものの第1位が「主体性」、第2位が「チームワーク・リーダーシップ・協調性」、第3位が「実行力」となっています。いかに「主体性」が求められているかが分かる結果でした。では、どのようにして、主体性を伸ばしていけるのでしょうか。3つ、伝えます。

1 「自らやる」という意識をもつ

嫌々「やらされている」という意識では、何も身に付かないばかりか、「もうやりたくない」「早く終わってほしい」となります。自ら「やってみよう」という意識に変えるには、「楽しみを見つけること」が大切です。苦手なことでも、「ここは少し楽しい」などと、ちょっとしたことで楽しみを見出すことで気持ちが少しずつ変わってくるものです。どうせやるなら楽しくやりましょう。

2 目標を立てて実行する

目標があるからこそ、今の自分はこうだから、次はこうしたいという意欲がわいてきます。

目標に向かって、自分自身をより良くデザインしていく——これこそ「主体性」です。

3 自己決定を意図的に多くする

自分が決めるべきことは自分で決めます。他の人のことでも自分だったらどうするかを考えます。

三中生が将来、変化の激しい社会の中で、主体性をもってたくましく生き抜くための力の礎を築いてほしいと願っています。ぜひ、御家庭でもご協力をお願いいたします。

第52回合唱祭「Brillante ～響かせよう！最煌のハーモニーを～」

まずは、みなさんに感謝の思いでいっぱいです。感動をありがとうございました。

今年の合唱祭は、2学期が始まって準備期間が短い中での開催となり、合唱が仕上がるのだろうかという心配がついて回っていました。そのような心配を吹き飛ばすほどの、予想を超える素晴らしい合唱祭でした。合唱祭という目標に向かい、各学級が一つになって取り組んでいる姿は、美しいし、とても微笑ましいです。各学級の実行委員を始め、パートリーダーや指揮者、伴奏者の皆さんが、合唱をリードしてくれたお陰です。練習に打ち込んだみなさんも、達成感があつたはずですよ。すべての学級が練習の成果を全て出し切り、「最高の合唱」を体育館に響かせました。

1年生、中学初めての合唱祭でしたが、上級生の練習の歌声を聴きながら練習することで声を通るようになり、元気と初々しさを兼ね備えた心温まる歌声となりました。2年生、歌詞を丁寧に歌い上げ、曲想の変化をよくとらえた、「一体感」のある質の高い歌声でした。3年生、まさに学校の顔としてふさわしい、重厚感のあるハーモニーを響かせ、人の心を揺さぶる完成度の高い歌声でした。特に学年合唱「手紙」は、大変気持ちがこもっており、本当に素晴らしい心に残る合唱でした。